



## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 宗岡 直彦

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	5,683	3.4	△982	—	△970	—	△690	—
24年12月期第1四半期	5,495	2.3	△627	—	△605	—	△550	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 △647百万円 (—%) 24年12月期第1四半期 △505百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	△40.17	—
24年12月期第1四半期	△32.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	23,593	14,761	60.8	835.07
24年12月期	24,781	16,181	63.7	918.34

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 14,345百万円 24年12月期 15,776百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,140	14.1	△195	—	△210	—	△430	—	△25.03
通期	37,250	10.2	4,580	3.3	4,540	2.1	2,150	25.0	125.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	17,185,650 株	24年12月期	17,185,650 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	6,258 株	24年12月期	6,258 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	17,179,392 株	24年12月期1Q	17,179,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年12月の新政権発足以降、政府による経済対策への期待感から、急速な円安と株価の上昇により一部で明るい兆しが見えつつありますが、中国をはじめとする海外景気の下振れや不安定な国際情勢もあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,683百万円（前年同期比3.4%の増加）、営業損失は982百万円（対前年同期355百万円の損失増加）、経常損失は970百万円（対前年同期365百万円の損失増加）、四半期純損失は690百万円（対前年同期139百万円の損失増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しております。詳細は、「3 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報等」に記載のとおりであります。

#### (写真事業)

写真事業は、前年同様、「桃の節句キャンペーン」や0歳～10歳のお子様を対象とした「みんななかよし撮影会」を実施するとともに、入園入学撮影においては、競合他社との差別化によって件数獲得を図るため、新しい撮影スタイルの絵柄の導入やその新絵柄に連動した入園入学専用商品の導入を行うとともに、それらをお客様に広く伝えるための広告宣伝の強化に取り組みました。

これらの取り組みにより、フランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は、前年同期比で103.5%となり、開店1年以上経過した既存店の撮影件数は100.1%となりました。

国内の子ども写真館の出店状況は、5店舗出店し、ショッピングセンター内の増床を含む改装を3店舗実施いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館432店舗（直営店舗422店・フランチャイズ店舗10店）、大人向け写真館1店舗、韓国の子会社における子ども写真館6店舗、台湾の合弁会社における子ども写真館4店舗、および、同合弁会社の運営による中国の子ども写真館1店舗を含め、444店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は5,621百万円（前年同期比3.3%の増加）、セグメント損失は1,020百万円（対前年同期377百万円の損失増加）となりました。

#### (衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、生産コストの更なる低減を図るため、資材調達や生産方法等の抜本的な見直しに取り組みました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は190百万円（前年同期比24.6%の増加）、セグメント利益は22百万円（前年同期は19百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,188百万円減少し23,593百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払い等により、前連結会計年度末と比べ1,163百万円減少の10,038百万円となりました。

固定資産は、減価償却等により、前連結会計年度末と比べ24百万円減少の13,554百万円となりました。

#### ② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ232百万円増加し8,832百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ439百万円増加の7,014百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べ206百万円減少の1,817百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,420百万円減少し14,761百万円となりました。

これは主に、第1四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成25年2月12日に公表いたしました当第2四半期連結会計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,688,092	6,416,625
受取手形及び売掛金	778,781	867,482
たな卸資産	979,923	1,079,286
その他	1,796,173	1,720,679
貸倒引当金	△40,280	△45,160
流動資産合計	11,202,691	10,038,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,652,072	5,569,131
その他(純額)	3,105,685	3,002,395
有形固定資産合計	8,757,758	8,571,526
無形固定資産		
投資その他の資産	740,142	835,036
敷金及び保証金	2,904,612	2,956,121
その他	1,319,375	1,318,910
貸倒引当金	△143,335	△127,335
投資その他の資産合計	4,080,652	4,147,696
固定資産合計	13,578,553	13,554,259
資産合計	24,781,244	23,593,175
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	312,956	195,801
短期借入金	1,350,000	2,150,000
1年内返済予定の長期借入金	456,670	438,337
未払法人税等	907,129	125,757
関係会社整理損失引当金	27,633	21,614
賞与引当金	4,868	2,448
その他	3,516,196	4,080,870
流動負債合計	6,575,454	7,014,830
固定負債		
長期借入金	215,000	110,000
退職給付引当金	477,136	489,267
資産除去債務	839,930	848,440
その他	491,763	369,529
固定負債合計	2,023,830	1,817,237
負債合計	8,599,284	8,832,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	11,871,590	10,408,499
自己株式	△9,222	△9,222
株主資本合計	15,803,767	14,340,676
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△27,210	5,307
その他の包括利益累計額合計	△27,210	5,307
少数株主持分	405,402	415,124
純資産合計	16,181,959	14,761,107
負債純資産合計	24,781,244	23,593,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	5,495,060	5,683,096
売上原価	4,720,839	5,097,888
売上総利益	774,220	585,207
販売費及び一般管理費	1,401,659	1,567,772
営業損失(△)	△627,438	△982,564
営業外収益		
受取利息	878	908
受取家賃	6,577	6,413
貸倒引当金戻入額	5,140	16,000
為替差益	13,442	—
雑収入	6,464	4,833
営業外収益合計	32,502	28,154
営業外費用		
支払利息	8,133	6,299
為替差損	—	7,778
雑損失	2,033	2,098
営業外費用合計	10,166	16,176
経常損失(△)	△605,102	△970,585
特別利益		
負ののれん発生益	3,262	—
特別利益合計	3,262	—
特別損失		
固定資産廃棄損	96,792	12,153
減損損失	136,652	36,915
ゴルフ会員権評価損	3,285	—
特別損失合計	236,730	49,068
税金等調整前四半期純損失(△)	△838,570	△1,019,654
法人税、住民税及び事業税	113,372	90,409
法人税等調整額	△408,350	△429,280
法人税等合計	△294,978	△338,870
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△543,592	△680,783
少数株主利益	7,146	9,235
四半期純損失(△)	△550,738	△690,018



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△543,592	△680,783
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	38,229	33,003
その他の包括利益合計	38,229	33,003
四半期包括利益	△505,362	△647,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△516,867	△657,501
少数株主に係る四半期包括利益	11,504	9,721

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,440,613	54,447	5,495,060	—	5,495,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	98,059	98,059	△98,059	—
計	5,440,613	152,507	5,593,120	△98,059	5,495,060
セグメント損失(△)	△643,199	△19,350	△662,549	35,111	△627,438

(注) 1. セグメント損失(△) 調整額35,111千円には、固定資産の調整額等79,194千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△44,083千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△) は、四半期連結損益計算書の営業損失(△) と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、工場及び店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては136,652千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,621,891	61,205	5,683,096	—	5,683,096
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	128,810	128,810	△128,810	—
計	5,621,891	190,015	5,811,907	△128,810	5,683,096
セグメント利益又は損失(△)	△1,020,571	22,571	△997,999	15,435	△982,564

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)調整額15,435千円には、固定資産の調整額等65,590千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△50,155千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、従来の「こども写真事業」を「写真事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によりセグメント情報に与える影響はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては36,915千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。